

令和6年度/2025年度

事業報告書

2024年8月1日から 2025年7月31日まで

特定非営利活動法人 日本ブラインドサッカー協会

1 事業の成果

<競技事業>

・審判事業：

審判員派遣事業としては国内各大会と日本代表チーム（男子・女子・育成）の強化トレーニングマッチ、クラブチームの親善試合、エキシビジョンマッチ等に審判派遣を行った。また、2025年5月に開催されたIBSA Men's Blind Football Elite Cup および Women's World Grand Prix に6人の審判を派遣し、各試合における審判としての役割以外にも大会運営において重要な役割を担った。それぞれの国際大会で新たに適用された競技規則の運用や解釈の変更などをタイムリーに国内の審判員に共有することで、日本国内の試合でも国際的な基準を保つ事ができている。講習会事業として審判員資格更新講習会、国際大会振り返り講習会、トレーニングセッション等を実施した。また新規審判員講習会を2024年8月に静岡、2025年1月に東京で開催し、併せて8名が新規に審判員資格を取得。年度末の審判員数は49名となった。

・代表チーム事業：

男子代表チームは、2024年9月に開催されたパリパラリンピックでメダル獲得を目指して戦ったものの、目標には届かず8位という結果となった。大会後の振り返りでは、パラリンピックに向けたプロセス全体は高く評価された一方で、「大舞台でのパフォーマンス発揮」という観点において課題が残る結果となった。

これらの学びを踏まえ、2025年1月より新体制をスタートさせた。強化の軸は維持しつつも、より選手の主体性・自律性を重視した取り組みへと進化している。コーチングスタッフにも新たな変化を加え、体制を刷新。また、若手選手の積極的な登用により、中長期的な視点で強化を進める環境を整備している。

2025年5月に開催された、世界ランキング上位8チームが出場する新設大会「エリートカップ」では、パリ大会で対戦した強豪国と再び相まみえ、見事準優勝を果たした。その後の海外遠征や国際親善試合でも順調に成果を積み重ねている。

この背景には、週5日ペース（週末の1泊2日合宿+平日3日のトレーニング）での継続的な強化活動に加え、大会時の客観的データの収集と分析の徹底がある。また、選手自身の主体性・自律性を高めるために、短期・中期目標の言語化やキャリア教育にも力を入れている。さらに、コーチ陣の指

導力向上を目的としたコーチング講習会を実施し、複合的なアプローチによってチーム課題を一つひとつ解決するプロセスが確立されつつある。

女子代表チームは、2025年5月に開催されたワールドグランプリにおいて、2023年世界選手権で敗れたアルゼンチンを破り、見事優勝を果たした。その後も世界ランキング1位の座を維持し続けており、現在は2025年世界選手権に向けてさらなる強化を進めている。

ロービジョンフットサル（LVF）代表チームは、2025年11月に開催予定の世界選手権でのメダル獲得を目指し、順調に強化を進めている。2025年1月時点の世界ランキングは5位であり、着実に成果を重ねている。

・普及事業：

キッズトレーニングは関東5回実施、関西6回、広島4回、北海道1回、沖縄1回と開催都市を増やし開催し、合計81名の児童が参加した。キッズキャンプは2025年3月にSantenブラサカキッズキャンプ2025in西日本を実施し15名の児童が参加した。東日本会場は昨今の猛暑を考慮し、2025年9月にブラックロック・ブラサカキッズキャンプを開催することとなった。

各事業に新規参加者も見られ、キッズキャンプ・キッズトレーニング共に参加児童の人数は順調に増えており、さらなるトレーニング環境の充実を図る。

・育成事業：

男子はトレセン合宿とジュニアの取り組みを行い、若年層の育成の取り組みを行った。2024パリパラリンピック終えて、育成年代のアメリカ遠征を実施し、その後男子強化して選手に新たに3名の選出される。

女子選手の発掘の取り組みも実施し、女子の育成チームの活動を行う。

指導者養成プログラムではB級を16名、C級を44名養成し、広島、大阪、鹿児島、新潟、北海道で初の指導者講習会の実施を実現することが出来た。

サポートチームでは、MBPでの講習会の実施し、クラブチームの競技力の向上にも寄与できたと感じている。

<国内大会事業>

本年度においては第22回アクサ ブレイブカップ ブラインドサッカー日本選手権、第19回ロービジョンフットサル日本選手権、LIGA. i 2024、地域リーグ2024、地域リーグ2025を開催した。

<国際大会事業>

本年度においては昨年度から引き続きグランフロント大阪でダイセル ブラインドサッカーウィー

ク in うめきたを25年5月に開催をした。男子、女子4カ国ずつ計8カ国が参加をした。スポーツ施設ではなく商業施設での開催で多くの方にブラインドサッカーに触れてもらった。

<ダイバーシティ事業>

体験事業の需要が多く、体験型ダイバーシティ教育プログラム『スポ育』に関しても、のべ20万人以上の生徒に体験していただき、全国規模で広がりを見せ始めている。

企業向けの研修事業も順調に実施ができ、企業・教育現場の双方で、ブラインドサッカーを通じた学びの価値が広く認知されつつあり、互いを理解し、協働する力を育むダイバーシティ教育の一環として、社会に浸透し始めている。

<障害福祉サービス事業>

2022年より、混ざり合う社会の実現に向けて、同行援護事業を本格稼働。福祉サービス業界の課題である利用者と同行援護従業者とのマッチング率の低さ解消に向けたスマホアプリを開発し、視覚障がい者全般へのサービス普及を目指している。25年7月末現在、利用登録者数80名。サービスの担い手となる同行援護従業者の人出不足と高齢化という業界の課題解消に向けて、同行援護従業者養成研修を行っており、年間で46名が研修を受講。さらに、視覚障がい者が抱える悩みや課題に対する相談窓口として、おたすけ電話相談事業を継続して展開している。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【330,222】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
競技事業	ブラインドサッカーの強化ならびに競技実施に関わる各事業(普及育成、審判、医事)	通年	東京都、千葉県、埼玉県、茨城県、山梨県、大阪府、兵庫県を中心とした全国各地	70	全国のブラインドサッカー競技者・指導者・審判員、キッズ事業に参加する視覚障がい児	750	108,780
大会事業	ブラインドサッカー、ロービジョンフットサルの各種大会運営	通年	北海道、千葉、埼玉、東京、静岡、長野、石川、大阪、兵庫、広島、島根、山口	30	全国のクラブチーム登録者(35チーム)	757	172,490

ダイバーシティ事業	主として健全者(目が見える方)を対象としたフラインドサッカーの普及活動	通年	首都圏、地方主要都市が中心、その他日本全国	15	スポーツ実施を希望する学校、研修・各種イベントを希望する企業およびそのサービスを受ける不特定多数の市民	32,000	36,925
障害福祉サービス事業	障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業、介護人材の育成事業	通年	一都三県を中心とした全国各地	94	サービスを受ける視覚障がい者および研修受講生	80	12,027

(2) その他の事業

(事業費の総費用【 0 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)
	なし				

令和6年度 活動計算書 (その他事業がない場合)

自 令和6年8月1日 至 令和7年7月31日

特定非営利活動法人 日本ブラインドサッカー協会

(単位:円)

科 目	金 額	小計・合計
(A) 経常収益		
1 受取会費		210,000
正会員受取会費	210,000	
2 受取寄附金		13,041,666
受取寄附金	13,041,666	
3 受取助成金等		115,705,936
受取国庫助成金	90,092,138	
受取民間助成金	25,613,798	
4 事業収益		424,712,957
競技事業収益	1,602,291	
大会事業収益	157,869,072	
ダイバーシティ事業収益	54,869,091	
障害福祉サービス事業収益	8,761,601	
ファンドレイジング等事業収益	201,610,902	
5 その他の収益		312,527
受取利息	63,988	
受取配当金	600	
為替差益	0	
雑収入	247,939	
経常収益計		553,983,086
(B) 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		64,151,102
給料手当	50,816,331	
残業手当	2,604,740	
賞与	3,172,158	
法定福利費	7,192,443	
福利厚生費	365,430	
(2) その他経費		266,039,363
業務委託費	121,671,831	
広告宣伝費	5,180,108	
交際費	288,930	
会議費	138,896	
旅費交通費	50,944,595	
通信運搬費	6,205,184	
謝礼金	13,003,996	
消耗品費	16,687,733	
印刷費	-29,366	
修繕費	911,900	
水道光熱費	621,094	
諸会費	790,000	
支払手数料	1,241,989	
会場費	23,075,424	
保険料	498,144	
支払報酬料	1,050,000	
寄付金	652,213	
教育研修費	223,663	
減価償却費	7,007,525	
地代家賃	3,120,000	
賃借料	8,975,387	
租税公課	34,815	
支払大会参加費	3,745,302	
事業費計		330,190,465
2 管理費		
(1) 人件費		77,924,119
役員報酬	11,770,000	
給料手当	48,424,513	
残業手当	2,566,385	
賞与	5,423,803	
法定福利費	9,456,798	
福利厚生費	282,620	
(2) その他経費		89,476,488
売上原価	3,068,797	
業務委託費	46,031,392	

広告宣伝費	2,742,312	
交際費	292,943	
会議費	74,343	
旅費交通費	4,552,451	
通信運搬費	4,921,826	
謝礼金	660,335	
消耗品費	3,750,457	
印刷費	561,890	
水道光熱費	345,823	
諸会費	100,000	
支払手数料	2,971,850	
リース料	343,200	
会場費	101,492	
保険料	454,144	
支払報酬料	2,940,250	
寄付金	26,525	
教育研修費	180,000	
減価償却費	209,132	
地代家賃	3,727,500	
賃借料	306,600	
租税公課	10,414,430	
支払利息	627,222	
為替差損	24,115	
雑損失	7,369	
前期損益修正損	40,090	
管理費計		167,400,607
経常費用計		497,591,072
当期経常増減額【A】-【B】・・・①		56,392,014
【C】経常外収益		
経常外収益計		0
【D】経常外費用		
経常外費用計		0
当期経常外増減額【C】-【D】・・・②		0
税引前当期正味財産増減額①+②・・・③		56,392,014
法人税、住民税及び事業税・・・④		70,000
前期繰越正味財産額・・・⑤		-577,848
次期繰越正味財産額③-④+⑤		55,744,166

令和6年度 貸借対照表

令和7年7月31日現在

特定非営利活動法人 ブラインドサッカー協会

(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
【A】	資産の部		
1	流動資産		
	現金預金	195,694,730	
	売掛金	22,790,877	
	商品	2,350,146	
	貯蔵品	3,635,346	
	立替金	680,419	
	未収金	1,119,003	
	前払費用	4,246,873	
	前払金	2,344,722	
	流動資産合計・・・①		232,862,116
2	固定資産		
	(1)有形固定資産		
	建物	2,061,117	
	建物付属設備	945,265	
	工具器具備品	14,825,112	
	構築物	10,311,234	
	(2)無形固定資産		
	商標権	60,621	
	(3)投資その他の資産		
	出資金	3,000,000	
	差入保証金	2,250,000	
	長期前払費用	523,875	
	固定資産合計・・・②		33,977,224
	【A】資産合計①+②		266,839,340
【B-1】	負債の部		
1	流動負債		
	一年以内返済長期借入金	11,076,000	
	未払金	29,713,639	
	未払法人税等	70,000	
	未払消費税等	7,196,400	
	前受金	35,671,488	
	前受収益	72,697,468	
	流動負債合計・・・③		156,424,995
2	固定負債		
	長期借入金	54,612,000	
	長期前受収益	58,179	
	固定負債合計・・・④		54,670,179
	負債合計③+④		211,095,174
【B-2】	正味財産の部		
	前期繰越正味財産額	-577,848	
	当期正味財産増減額	56,322,014	
	正味財産合計		55,744,166
【B】	負債及び正味財産合計【B-1】+【B-2】		266,839,340

令和6年度 計算書類の注記

事業報告用

特定非営利活動法人 日本ブラインドサッカー協会

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法によっています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

・有形固定資産

法人税の規定に基づいて定率法(建物および建物付属設備については定額法)で償却をしています。

・無形固定資産

法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(3) 外貨建取引の換算基準

外貨建て取引は、当該発生取引時の為替相場による円換算額によって記帳しています。

また、外貨建金銭債権債務については、期末時の為替相場による円換算額で評価しております。

決算時における換算によって生じた換算差額は、当期の為替差損益として処理しております。

(4) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は税抜経理処理によっています。

2. 事業別損益の状況

(単位:円)

科目	競技事業	大会事業	ダイバーシティ事業	障害者の総合支援法 に基づく障害福祉 サービス事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費	0	0	0	0	0	210,000	210,000
2. 受取寄附金	30,000	0	0	0	30,000	13,011,666	13,041,666
3. 受取助成金等	56,579,085	21,145,336	0	81,536	77,805,957	37,899,979	115,705,936
4. 事業収益	1,602,291	157,869,072	54,869,091	8,680,065	223,020,519	201,692,438	424,712,957
5. その他収益	3,401	227,273	0	0	230,674	81,853	312,527
経常収益計	58,214,777	179,241,681	54,869,091	8,761,601	301,087,150	252,895,936	553,983,086
II 経常費用							
(1) 人件費							
役員報酬	0	0	0	0	0	11,770,000	11,770,000
給料手当	16,004,918	13,385,084	12,616,306	8,810,023	50,816,331	48,424,513	99,240,844
残業手当	1,342,659	525,512	388,589	347,980	2,604,740	2,566,385	5,171,125
賞与	1,365,869	1,046,106	703,783	56,400	3,172,158	5,423,803	8,595,961
法定福利費	2,769,210	2,135,429	1,641,947	645,857	7,192,443	9,456,798	16,649,241
福利厚生費	365,430	0	0	0	365,430	282,620	648,050
人件費計	21,848,086	17,092,131	15,350,625	9,860,260	64,151,102	77,924,119	142,075,221
(2) その他経費							
売上原価	0	0	0	0	0	3,068,797	3,068,797
業務委託費	12,755,814	93,152,052	15,241,405	522,560	121,671,831	46,031,392	167,703,223
広告宣伝費	19,145	5,160,963	0	0	5,180,108	2,742,312	7,922,420
交際費	122,866	153,536	12,528	0	288,930	292,943	581,873
会議費	819	1,228	130,849	6,000	138,896	74,343	213,239
旅費交通費	42,099,971	5,802,755	2,844,817	197,052	50,944,595	4,552,451	55,497,046
通信運搬費	581,645	5,032,291	445,182	146,066	6,205,184	4,921,826	11,127,010
謝礼金	9,813,245	1,721,474	1,312,104	157,173	13,003,996	660,335	13,664,331
消耗品費	7,147,985	9,102,219	420,461	17,068	16,687,733	3,750,457	20,438,190
印刷費	0	-29,366	0	0	-29,366	561,890	532,524
修繕費	21,900	890,000	0	0	911,900	0	911,900
水道光熱費	424,333	90,431	84,468	21,862	621,094	345,823	966,917
諸会費	570,000	220,000	0	0	790,000	100,000	890,000
支払手数料	313,428	928,561	0	0	1,241,989	2,971,850	4,213,839
リース料	0	0	0	0	0	343,200	343,200
会場費	2,213,702	20,762,440	90,009	9,273	23,075,424	101,492	23,176,916
保険料	205,644	292,500	0	0	498,144	454,144	952,288
支払報酬料	90,000	960,000	0	0	1,050,000	2,940,250	3,990,250
寄付金	0	0	0	652,213	652,213	26,525	678,738
教育研修費	13,638	0	0	210,025	223,663	180,000	403,663
減価償却費	2,680,737	4,326,788	0	0	7,007,525	209,132	7,216,657
地代家賃	1,140,000	910,000	850,000	220,000	3,120,000	3,727,500	6,847,500
賃借料	5,277,287	3,563,100	135,000	0	8,975,387	306,600	9,281,987
租税公課	2,515	25,000	7,300	0	34,815	10,414,430	10,449,245
支払大会参加費	1,437,634	2,307,668	0	0	3,745,302	0	3,745,302
支払利息	0	0	0	0	0	627,222	627,222

為替差損	0	24,115	0	0	24,115	0	24,115
雑損失	0	0	0	7,369	7,369	0	7,369
前期損益修正損	0	0	0	0	0	40,090	40,090
その他経費計	86,932,308	155,397,755	21,574,123	2,166,661	266,070,847	89,445,004	355,515,851
経常費用計	108,780,394	172,489,886	36,924,748	12,026,921	330,221,949	167,369,123	497,591,072
当期経常増減額	-50,565,617	6,751,795	17,944,343	-3,265,320	-29,134,799	85,526,813	56,392,014

3. 使途等が制約された寄附金等の内訳

使途等が制約された寄附金等の内訳は以下の通りです。

当法人の正味財産は55,744,166円ですが、そのうち使途が制約された財産はありません。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
JPC競技力向上事業	0	37,645,000	37,645,000	0	当期末使用で返還義務のある31,423,550円は、前受金として負債に計上しています。
JSC組織基盤強化支援事業	0	27,790,235	27,790,235	0	
JSCスポーツ振興くじ助成金	0	15,263,000	15,263,000	0	
JSCスポーツ振興基金助成金	0	8,000,000	8,000,000	0	
パリンピック競技団体運営支援助成金	0	11,650,434	11,650,434	0	
日本パラスポーツ協会助成金	0	6,335,336	6,335,336	0	
J-STAR助成金	0	425,531	425,531	0	
指導者講習会助成金	0	1,054,646	1,054,646	0	
東京パラスタッフ助成金	0	320,600	320,600	0	
東京パラアスリート座学講習会助成金	0	200,000	200,000	0	
クロストレーニング柔道助成金	0	129,618	129,618	0	
広島スポーツ文化財団助成金	0	1,000,000	1,000,000	0	
G7奨学財団助成金	0	4,400,000	4,400,000	0	
ゴールドウイン助成金	0	1,160,000	1,160,000	0	
千葉県障がい者スポーツ協会助成金	0	250,000	250,000	0	
東京都障害福祉人材確保・職場環境改善等事業補助金	0	81,536	81,536	0	
合計	0	115,705,936	115,705,936	0	

4. 固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物	2,434,384			2,434,384	373,267	2,061,117
建物付属設備	1,901,204			1,901,204	955,939	945,265
工具器具備品	78,060,006			78,060,006	63,234,874	14,825,132
構築物	11,564,000			11,564,000	1,252,766	10,311,234
無形固定資産						
ソフトウェア	4,234,716			4,234,716	4,234,716	0
商標権	330,660			330,660	270,039	60,621
投資その他の資産						
出資金	3,020,000		20,000	3,000,000		3,000,000
差入保証金	2,250,000			2,250,000		2,250,000
長期前払費用	837,375	0	313,500	523,875		523,875
合計	104,632,345	0	333,500	104,298,845	70,321,601	33,977,244

5. 借入金の内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
一年以内返済長期借入金	10,632,000	11,520,000	11,076,000	11,076,000
長期借入金	66,132,000	0	11,520,000	54,612,000
合計	76,764,000	11,520,000	22,596,000	65,688,000

6. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	計算書類に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人との取引
(活動計算書)			
正会員受取会費	210,000	105,000	
ファントレーシング等事業収益	201,610,902		1,111,516
活動計算書計	323,492,733	105,000	1,111,516

7. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

・事業費と管理費の按分方法

各事業の経費及び事業費と管理費に共通する経費のうち、法定福利費及び水道光熱費、地代家賃については従事割合に基づき按分しています。

令和6年度 財産目録

令和7年7月31日現在

特定非営利活動法人 ブラインドサッカー協会
(単位:円)

科	目	金額	小計	合計
【A】 資産の部				
1 流動資産				
現金預金				
現金 手許現金		184,815		
普通預金 三菱東京UFJ銀行大久保支店 5口座		15,050,363		
普通預金 三井住友銀行新宿西口支店		11,436,439		
普通預金 PayPay銀行ビジネス営業部 2口座		6,243,444		
普通預金 楽天銀行第一営業支店 7口座		43,410,796		
普通預金 楽天銀行第二営業支店 8口座		107,270,630		
普通預金 楽天銀行第三営業支店 1口座		33,967		
普通預金 楽天銀行第四営業支店 2口座		6,681,029		
普通預金 りそな銀行上野支店		4,416,451		
通常貯金 ゆうちょ銀行		328,046		
振替口座 ゆうちょ銀行		638,750		
売掛金				
協賛金7月分他 40件		22,790,877		
棚卸資産				
商品 サッカーボール等		2,350,146		
貯蔵品 ブラカマガジン等		3,635,346		
立替金				
東京労働局 雇用保険料他 1件		680,419		
未収金				
PayPal Pte. Ltd(メンバー収入)		960,570		
その他3件		158,433		
前払費用				
(株)クリアソン パートナ協賛金		3,211,915		
その他12件		1,034,958		
前払金				
世界選手権エントリーフィー デPOSIT		1,395,519		
その他7件		949,203		
流動資産合計・・・①			232,862,116	
2 固定資産				
(1) 有形固定資産				
建物				
新オフィス造作		2,061,117		
建物付属設備				
パーティション等		945,265		
工具器具備品				
移動式観客席 5セット		4,412,411		
LEDビジョン、LEDフェンス 6点		308,058		
サイトフェンス 4セット他		9,902,099		
試合用ゴール 3セット		107,079		
製氷機		69,215		
洗濯乾燥機 2台		26,250		
構築物				
人工芝		10,311,234		
(2) 無形固定資産				
商標権				
ブラインドサッカー		60,621		
(3) 投資その他の資産				
出資金				
(一財)IBFF		3,000,000		
差入保証金				
事務所保証金		2,250,000		
長期前払費用				
事務所更新料他		523,875		
固定資産合計・・・②			33,977,224	
【A】 資産合計 ①+②				266,839,340

【B-1】 負債の部			
1 流動負債			
一年以内返済長期借入金			
りそな銀行 上野支店	6,000,000		
日本政策金融公庫立川支店	5,076,000		
未払金			
名鉄観光サービス(株)業務委託費他	29,713,639		
未払法人税等			
法人住民税7年7月期分	70,000		
未払消費税			
消費税7年7月期分	7,196,400		
前受金			
(公財)日本財団パラスポーツサポートセンター 2025年度パラサポ助成金他	35,671,488		
前受収益			
参天製薬(株)他 次期分	72,697,468		
流動負債合計・・・③		156,424,995	
2 固定負債			
長期借入金			
りそな銀行 上野支店	36,000,000		
日本政策金融公庫 立川支店	18,612,000		
長期前受収益			
(株)新興出版社啓林館 動画使用料	58,179		
固定負債合計・・・④		54,670,179	
【B-1】 負債合計 ③+④			211,095,174
【B-2】 正味財産合計 【A】 - 【B-1】			55,744,166

2025 年度年間役員名簿 （前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれからの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人 日本ブラインドサッカー協会

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係） 各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

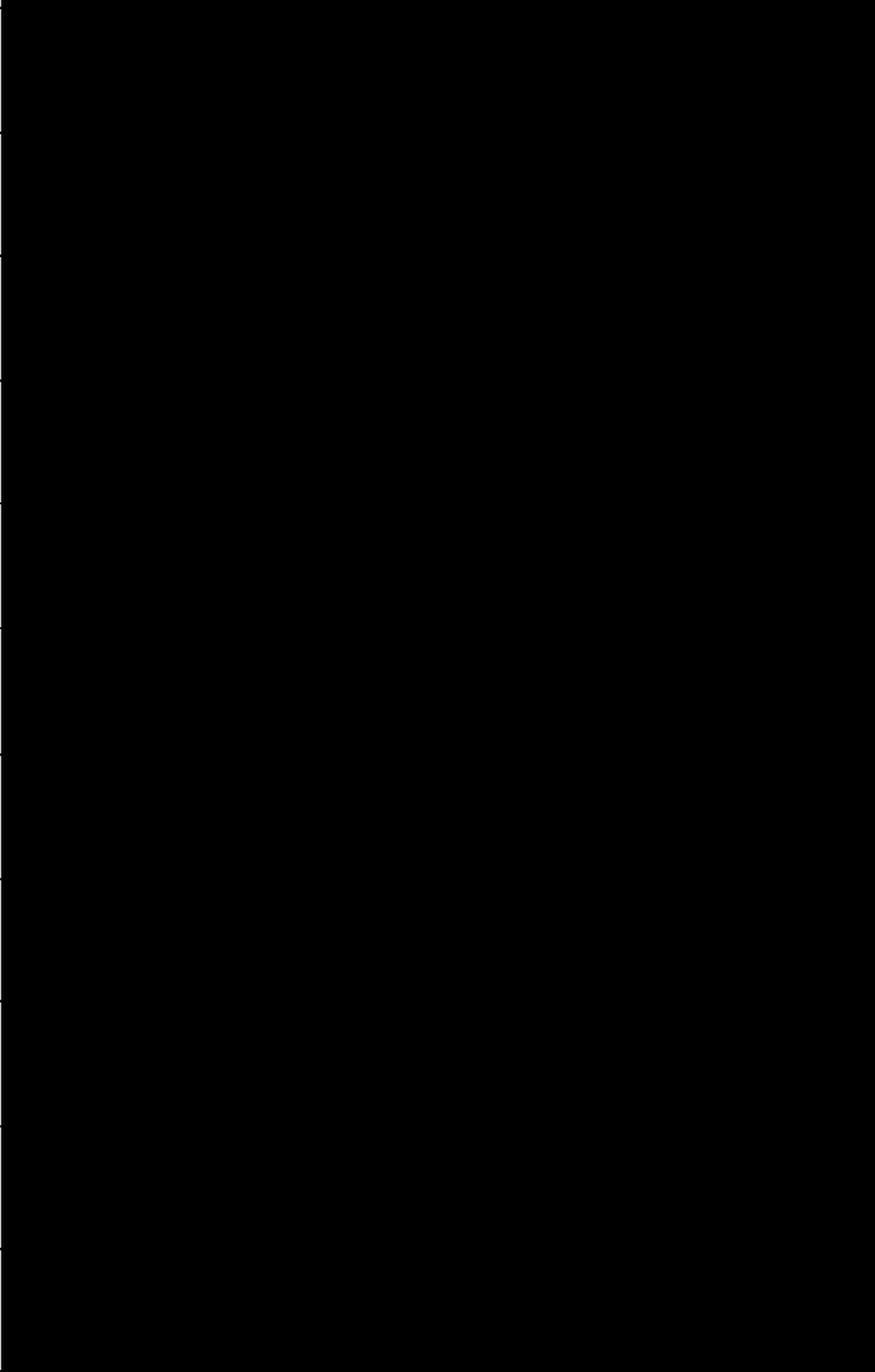
2 役員一覧

	役名	(フリガナ)	前事業年度内の就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名		
1	理事	カネコヒサコ	2024年8月1日～	2024年10月1日～
		金子 久子	2025年7月31日	2025年7月31日
2	理事	ホシカリヨウジ	2024年8月1日～	
		星加 良司	2025年7月31日	
3	理事	ムラマツクニコ	2024年8月1日～	
		村松 邦子	2025年7月31日	
4	理事	マツザキエイゴ	2024年8月1日～	2024年8月1日～
		松崎 英吾	2025年7月31日	2025年7月31日
5	理事	ヤマザキダイスケ	2024年8月1日～	
		山崎 大祐	2025年7月31日	
6	理事	ニシハラシゲル	2024年8月1日～	
		西原 茂	2025年7月31日	
7	理事	コヤマエミコ	2024年10月1日～	
		小山 恵美子	2025年7月31日	
8	理事	タカギトモコ	2024年10月1日～	
		高木 友子	2025年7月31日	
9	監事	イマイヤスヒロ	2024年8月1日～	
		今井 泰弘	2025年7月31日	
10	監事	モウコマサエ	2024年8月1日～	
		望戸 真砂江	2025年7月31日	

社員のうち10人以上の者の名簿

2025年7月31日現在

特定非営利活動法人 日本ブラインドサッカー協会

	氏名	
1	金子 久子	
2	星加 良司	
3	村松 邦子	
4	松崎 英吾	
5	山崎 大祐	
6	西原 茂	
7	小山 恵美子	
8	高木 友子	
9	今井 泰弘	
10	望戸 真砂江	